

## 入試案内(令和6年度)»

一般入試、薬学類・高大院接続入試、理系一括入試を実施しています。

募集定員	薬学類(65名)
一般入試	53名
薬学類・高大院接続入試	10名
理系一括入試	2名

一般入試	大学入学共通テスト(800点満点)	1月中旬	国語(100点)地歴または公民(100点)数学(200点)理科(200点)外国語(200点) ※理科:物理と化学の2科目
	個別学力検査(1200点満点)	2月下旬	数学(300点)理科(600点)外国語(300点) ※理科:物基・物理と化基・化学の2科目
薬学類・高大院接続入試	大学入学共通テスト(1000点満点)	1月中旬	国語(100点)地歴または公民(100点)数学(300点)理科(200点)外国語(300点) ※理科:物理と化学の2科目
	第1次選考		書類選考・大学入学共通テスト(1000点満点中概ね750点以上)
	最終選考	2月上旬	小論文(50点)口述試験(100点)
理系一括入試	大学入学共通テスト(400点満点)	1月中旬	数学(200点)外国語(200点)
	個別学力検査(600点満点)	2月下旬	理科(600点) ※物基・物理もしくは化基・化学から1科目

## 博士一貫プログラムの特徴»

薬学類の大きな特徴として、博士一貫プログラムがあります。この特別プログラムを受けるには、特別選抜「薬学類・高大院接続入試(定員10名)」(2月上旬実施)を受験し、合格する必要があります。入学後は、6年間の学士課程(薬学類)と4年間の大学院博士課程(薬学専攻)の10年間の一貫的な教育プログラムを受け、薬剤師の資格と博士(薬学)の学位を取得できるため、薬学類が人材育成目標として最も重視している「大学教員」「薬学研究者」となるグループのコアに位置づけられます。特別プログラムには以下のようなものがあり、経済的負担を考慮した奨学金等の各種サポートも用意されています。

博士課程在籍中	中間審査会での評価	優秀者に早期修了のチャンス
博士課程在籍中	博士奨学金の給付	①博士支援特別奨学金 経済的支持
博士課程在籍中	海外ラボへの留学・国際学会への参加	研究力・英語力の向上
博士課程入学時	②卓越リーダー育成奨学金 大学院入学金相当の給付	経済的支持
6年次	大学院科目の先取履修	高度アドバンス教育
4年次~	大学院同時開講科目の履修	アドバンス教育
3年次Q2	希望研究室への優先配属	研究室配属の優先選択権
2年次Q2	③国際リーダー育成奨学金 短期海外留学	海外経験・英語力向上
2年次~	CLA*として低学年のAL*科目を指導	ティーチングトレーニング・経済的支持
1年次Q3~	早期ラボローテーション	研究マインドの涵養

- ①博士支援特別奨学金  
博士課程薬学専攻の入学者のうち、社会人でない学生であり、日本学術振興会特別研究員等に採用されていない者
  - 給付額：150,000円／年
  - 給付時期：課程入学後、1年間を在学するごとに給付
  - 最大給付期間：標準修業年限
- ②卓越リーダー育成奨学金  
博士一貫プログラム生が博士課程に進学したとき
  - 給付額：282,000円（大学院入学金相当額）
  - 給付時期：博士課程に入学した直後の4月に給付（1回のみ）
- ③国際リーダー育成奨学金  
博士一貫プログラム生で、本学類2年次第2クォーター時の短期留学プログラムに参加した者
  - 給付額：100,000円
  - 給付時期：2年次第3クォーター開始時（10月）（1回のみ）

\*CLA（クラスラーニングアドバイザー）  
\*AL（アクティブラーニング）

※本学の経済状況等により、給付額について変動・見直しすることがあります。

金沢大学 医薬保健学域 薬学類

〒920-1192 金沢市角間町 TEL. 076-234-6827・6828 FAX. 076-234-6844  
E-mail. y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp URL. http://www.p.kanazawa-u.ac.jp/



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

入試情報アプリ



金沢大学  
医薬保健学域

薬学類

くすりと人を科学する





## 理念

金沢大学薬学類は、人類の健康増進ならびに医薬品等の創製と適正使用につながる先端的な基礎研究、応用研究、医療薬学研究の拠点として、健康な長寿社会の実現に貢献することを理念としています。したがって、薬学関連の知識・技能・態度を修得した上で、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題の解決に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献できる、多様な専門性を身につけた薬学高度専門人材の養成を教育目標とします。さらに、大学院博士課程（4年制）への進学をはじめ、他分野の専門知識の修得など卒業後の更なる学修・研鑽を強く推奨します。

## 人材育成目標

第一に、博士（薬学）の学位と薬剤師資格を併せ持ち、次の薬学教育・薬学研究を担う「大学教員」、がん・生活習慣病・認知症・感染症等の主要疾患から難治性の希少疾患まで革新的な医薬品の創出に取り組む「薬学研究者」等、薬学領域の幅広い知識と各専門分野の深い理解の上に、高度な研究能力を備えた人材の養成を特に重視しています。第二に、薬剤師資格に加え、超高齢社会、超過疎化、情報通信技術革新、国際化など、時代の急速な変化に対応して、人類の健康増進や疾病予防・治療に貢献できる、多様な専門性を身につけた「薬学プロ人材」を養成します。第三に、多角的な知識・経験に基づいて物事を俯瞰でき、より高度な臨床力と問題解決に主体的に取り組む姿勢をもってチーム医療に貢献する「主導的薬剤師」を養成します。

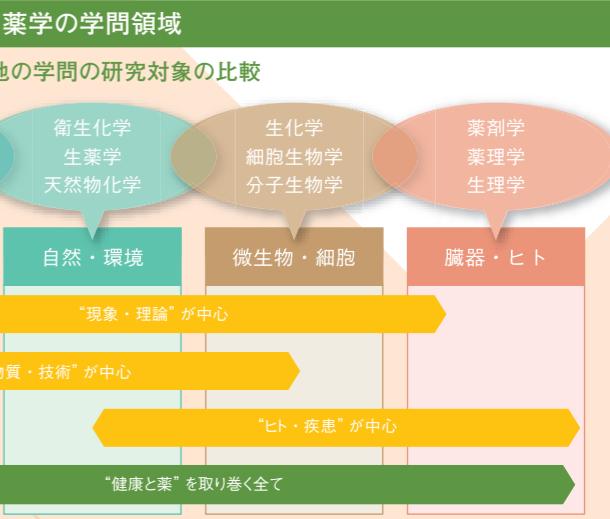
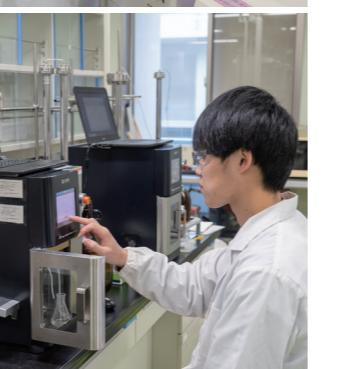
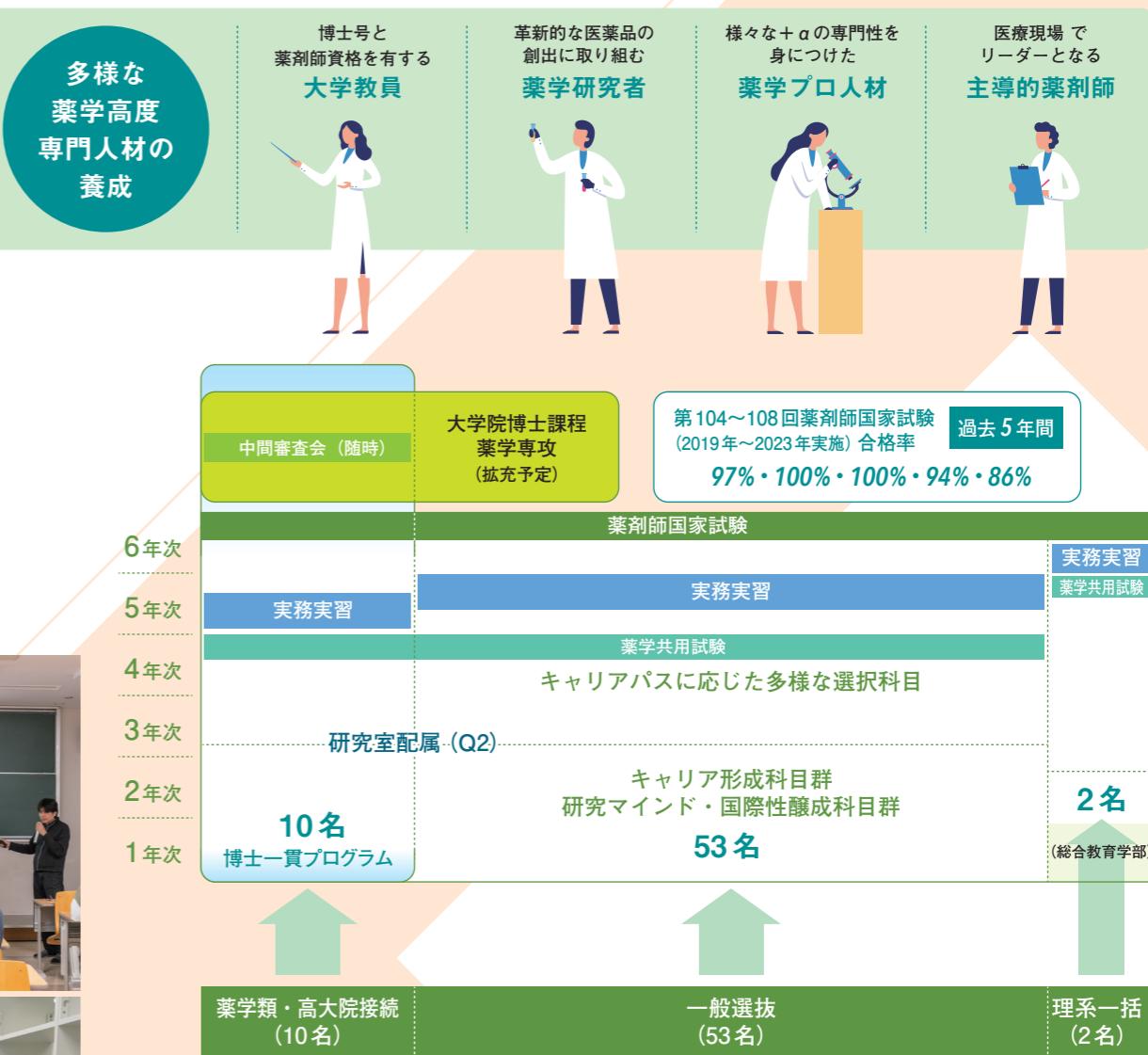
## 薬学類の特徴

1年次は、金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）に基づく共通教育科目に加えて、薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した専門教育科目の履修がスタートし、薬学の基礎を学び始めます。並行して、キャリア形成科目群が1～3年次にかけて段階的に開講され、学生の皆さんのが健康や医療に関する社会の諸課題を把握・理解し、その上で自分の将来・進路を早期から考えて定めていく機会としています。将来の目標を意識することで、勉学意欲や課題研究活動に対するモチベーションも高まり、それがさらなる高みを目指していく能動的好循環を生むことを期待しています。同時に、1年次から研究マインドや国際性を醸成する科目群も開講し、問題発見・解決能力とグローバルな感覚を少しづつ身につけていきます。専門教育は、学年進行とともに高度化・深化していくますが、3年次Q3以降は各々が描いたキャリアプランに応じた専門性を身につけられるよう、目指す人材像ごとに推奨する選択科目群を設定しています。また、卒業研究は3年次Q2からスタートし、研究室に所属して6年次まで各分野の先端的な課題研究・演習に取り組みます。

### ●キャリア形成科目群と研究マインド・国際性醸成科目群（1年から3年Q2までに習得）



## 入学から就職まで



“薬学”は様々な学問が融合した基礎から応用までを含む統合的な学問領域

- メリット1 多岐にわたる専門知識が身につけられる
- メリット2 より自分にあった専門分野が見つけられる